

令和6年度  
一般会計補正予算  
7億8042万円を追加し  
総額 **189億9709万円**

# 物価高騰対策は

国・県の動向が決まりしだい支援

第4回定例会は、11月29日から12月12日まで14日間の会期で行いました。

令和6年度一般会計補正予算（7億8042万円を追加し189億9709万円）をはじめ、特別会計補正予算4件、専決処分1件、条例案8件を原案通り承認・可決。また、監査委員等の任命に同意し、指定管理者の指定を原案可決しました。

条例案のうち「陸前高田ゆめみらい大場達史記念奨学基金条例」は、故大場達史氏の遺族からの寄付金等を活用し、給付型奨学金事業推進のため制定したものです。

一般質問には、10人の議員が登壇しました。物価高騰対策としては、市では、国・県の動向が決まりしだい支援としています。

最終日には、議員発議として「厚生年金への地方議会議員の加入等を求める意見書について」を賛成多数で採択しました。

## 一般会計の主な補正予算項目 歳出(支出)

(単位:万円未満で繰り上げ)

| 項目            | 補正額        | 補正の理由                   |
|---------------|------------|-------------------------|
| 福祉灯油支給事業費     | 989万円 増    | 高齢者世帯等の冬期間の経済的負担を軽減するため |
| 特別教室エアコン設置工事費 | 3億2715万円 増 | 小学校の特別教室のエアコン設置工事費として   |



あゆの里まつり会場の川の駅

## 監査委員・固定資産評価審査委員会委員・指定管理者の選任に同意・可決

### ●監査委員

千葉 徳次 氏 (65歳)米崎町

### ●固定資産評価審査委員会委員

鈴木 康文 氏 (73歳)高田町  
菅野 幸枝 氏 (46歳)高田町  
佐藤 雄幸 氏 (72歳)大船渡市赤崎町

### ●指定管理者

陸前高田市市民の森 箱根振興会  
陸前高田市玉山休養施設 ロッツ株式会社  
陸前高田市地域資源活用 川の駅組合  
総合交流促進施設

## 議員発議

議員発議は賛成多数で採択

地方議会における多様な人材確保の観点から、年金制度そのものが抱える課題に関する議論を深めるとともに、将来世代のため地方議会議員の厚生年金加入の選択肢確保等、法整備を早急に実現するよう強く要望するものです。

[表決が分かれた案件]

| 厚生年金への地方議会議員の加入等を求める意見書について | 佐々木良麻 | 菅野秀一郎 | 小林卓 | 木村聡 | 大和田加代子 | 中野貴徳 | 伊勢純 | 佐々木一義 | 大坂俊 | 菅野広紀 | 大坪涼子 | 福田利喜 | 藤倉泰治 | 伊藤明彦 | 鶴浦昌也 | 及川修一 |
|-----------------------------|-------|-------|-----|-----|--------|------|-----|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 発議第6号                       | ○     | ○     | ○   | ○   | ×      | ×    | ○   | ○     | ×   | ×    | ○    | ×    | ○    | ○    | ○    | 議    |

※『○』は賛成、『×』は反対、『議』は議長のため採否に参加せず。

## 我が市政を問う!

# 一般質問

|                      |                                                                  |
|----------------------|------------------------------------------------------------------|
| 伊勢 純<br>(日本共産党)      | 現役世代への物価高騰対策と地域経済循環<br>しみんエネルギーと脱炭素先行地域選定<br>高水温の影響に対する漁業者の収入確保策 |
| 鶴浦 昌也<br>(創生会)       | 先の国政選挙結果を踏まえた今後の対応<br>市制施行70周年を迎える新年度の予算編成方針<br>各種道路の整備と維持管理     |
| 大和田加代子<br>(碧い風)      | 健康ポイント事業<br>みちのく潮風トレイル                                           |
| 佐々木 良麻<br>(どうぼく未来創生) | 基金の債券運用<br>行政評価のあり方                                              |
| 伊藤 明彦                | 友好都市との今後の交流<br>国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化<br>被災文化財のレスキュー               |
| 大坪 涼子<br>(日本共産党)     | 物価高騰対策及び市民生活支援<br>本市における民泊(教育旅行)事業<br>市内小中学校における教育環境             |
| 菅野 広紀<br>(碧い風)       | 稲作農業の現状と展望<br>職業訓練校の現状と利活用                                       |
| 藤倉 泰治<br>(日本共産党)     | 市長の選挙公約と来年度予算<br>東日本大震災の伝承活動<br>市内の介護施設、介護事業所及び雇用対策              |
| 中野 貴徳                | 日本遺産に対する考え<br>民泊事業                                               |
| 木村 聡<br>(どうぼく未来創生)   | 社会的投資・地域に活力をもたらす福祉のあり方<br>テレワークのあり方                              |

## 問

今後の養殖漁業の品目変更に対する対応と支援は、  
県水産技術センターは、  
高水温に強いヨーロッパ



1Kg6000円の値がつく広田湾産カキ

## 問

高水温の影響でカキやイシカゲガイ養殖に被害が生じている。漁業者の現状は、  
イシカゲガイの水揚げは  
昨年度の3割程度。また、  
本年度水揚げ予定のカキの3割程度にへい死が見られる漁業者もいる。特定養殖共済等で生産金額の減少が補てんされる。



いせ じゅん  
伊勢 純  
(日本共産党)

高水温の被害に支援は  
漁業共済と品目変更で支援



こちらから視聴できます

## 答

環境面、及び経済面からもちたいへん意義がある。地域の魅力と質の向上、カーボンニュートラルをさらに推進する。

## 問

本市が脱炭素先行地域に選考された意義と事業展開は、

脱炭素先行の意義は

## 答

市は国の動向を注視しながら、プレミアム付き商品券事業など、現役世代の就業者も含めた物価高騰対策支援策を検討したい。

## 問

深刻な物価高騰を受け、現役世代の就業者へ市独自支援は、

現役世代へ支援は

来年度、イシカゲガイ漁業者が県からアサリの種苗提供を受け、既存の施設で試験養殖を行う予定。市も必要な支援を行う。